

## 報告書

テーマ：市民公開講座『病院と在宅の架け橋』（平成 22 年 12 月 18 日開催）

申請者：いしかわ在宅緩和ケアを語る会 西村元一

所 属：金沢赤十字病院 副院長

所在地：〒921-8162 石川県金沢市三馬 2 丁目 2 5 1 番地

提 出：平成 23 年 1 月 20 日

今回の病院から在宅へという市民公開講座は、今後の在宅医療推進のためには急性期病院と在宅医療がお互いに何をしているかを理解し、コミュニケーション作りの基礎にと思い、草の根運動的に頑張っているいしかわ在宅緩和ケアを語る会の仲間ならびに勇美記念財団の助成をはじめとした様々な団体の後援のもと開催が可能となった。

まず3名のエキスパート（病院側の退院調整ならびに受け入れ側の訪問看護師ならびに病診連携の核となっている医師）の基調講演後に地元の患者家族ならびに医療者、行政担当者が加わった形式でパネルディスカッションを行うという多少欲張った形式で企画を行った。

講座当日は12月半ばで足元が悪い中にも関わらず170名余り（うち7割が看護師）の参加があった。

金沢赤十字病院の岩田院長の挨拶のあと3名の講師の講演が開始された。まず宇都宮宏子さん（京都大学附属病院退院調整師長）の講演は退院調整の重要性、特に看護師が担う退院調整の重要性について実例を交えた内容であった。また秋山正子さん（白十字訪問看護ステーション）からは訪問看護師のエキスパートとしての役割、在宅での看取りなど実際に加えて新宿区での取り組みに関して、訪問看護師の育成ならびに地位向上のために大変参考になる内容であった。やはり在宅医療におけるキーとなるだけにレベル、モチベーションの全てが問われるとともに個人差が非常に大きい職種であることをみんなで共有できたものと思われる。

また休憩を挟み岡田晋吾先生（函館 北美原クリニック）からは、診療所医師としての日常診療ならびに在宅におけるチーム医療の要としての取り組み、そして先進的なIT化について講演していただき、これまたわれわれにとって非常に参考になるアイデアが満載であった。

パネルディスカッションは患者家族の方（昨年実母を在宅で看取られた）から実体験からくる医療者側への意見（苦言）から始まった。やはり実際に在宅を考えた時点での情報集めの複雑さ、病院による後方支援の不十分さ、そしてなによりも医療者側が唱えているコミュニケーション、つながり、連携などは市民側からは全く見えないし、わからない。このままでは自己満足に過ぎず、もっと市民からもわかりやすい、使いやすい連携を作りたい という非常に医療者にとって胸に突き刺さる意見が多い内容であった。

この意見に対して各講師の先生方から一言ずつコメントをいただき、そして地元のMSW、在宅緩和支援センター相談員・看護師そして医師会理事、行政担当者からも意見ならびに今後の取り組みに対するアナウンスを発言していただいた。

石川県にとっても在宅医療推進は今後の大きなテーマであり、勇美記念財団の助成で開催できた今回の市民公開講座がステップアップのための大きなきっかけになったものと確信しています。

（追伸）当日夜に開催された、講師といしかわ在宅緩和ケアを語る会のコアメンバーによ

る懇親の場において数多くのプロジェクトが起案あれ、現在いくつかが実現に向けて調整中であることをつけ加えます。



(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による)



# 市民公開講座

参加費無料  
定員300名  
事前申込み不要

## 『病院と在宅の架け橋』

日時：2010年12月18日（土） 14:00～17:30

場所：石川県地場産業振興センター 本館 大ホール

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 TEL076-268-2859

### 開会挨拶

岩田 章（金沢赤十字病院 院長）

### 【第一部】 基調講演 14:05～16:30

14:05～14:50

司会：浅見 美千江（石川県医療在宅ケア事業団）

#### 講演① 『チームで行う退院支援

～退院支援は患者さんの人生を一緒に考える看護～』

宇都宮 宏子（京都大学医学部附属病院

地域ネットワーク医療部 退院調整看護師長）

14:50～15:35

#### 講演② 『どんな時でも命は輝く～訪問看護師からみた医療連携～』

秋山 正子（白十字訪問看護ステーション統括所長）

~~~~~< 休憩 >~~~~~

15:45～16:30

司会：西村 元一（金沢赤十字病院）

#### 講演③ 『地域医療での開業医の役割 ～在宅医療は楽しい！大変？！～』

岡田 晋吾（北美原クリニック 理事長）

### 【第二部】 パネルディスカッション 16:40～17:30

司会：西村 元一 浅見 美千江

小林ひろみ

河原久美子（金沢赤十字病院 ソーシャルワーカー）

木村 美代（石川県在宅緩和ケア支援センター 相談員・看護師）

洞庭 賢一（洞庭医院 院長）

木村 慎吾（石川県健康福祉部地域医療推進室 担当課長）

石川県病院薬剤師会生涯研修制度<<1.5単位>>に該当致します

問い合わせ先 / 金沢赤十字病院 地域医療連携室 TEL(076)242-9828 (直通)

共催：いしかわ在宅緩和ケアを語る会 金沢赤十字病院 武田薬品工業株式会社

後援：金沢市医師会 石川県看護協会 石川県病院薬剤師会 北國新聞社

在宅医療助成 勇美記念財団による助成を受けています